

# 介護福祉学科 カリキュラムマップ (R8 年度入学生)

アドミッションポリシー

豊かな感性を持ち、対人援助にふさわしい人  
介護福祉士に必要な知識・技術を学ぶことへの意欲がある人  
福祉分野に強い関心がある人

ディプロマポリシー

カリキュラムポリシー

人間力	専門力	実践力
○利用者との信頼関係を構築することができ、深い洞察力、利用者・家族、チームに対するコミュニケーション能力を身に付けることができる ○利用者に対する共感的態度などの豊かな人間性をもつことができる	○利用者の基本的人権を尊重する倫理観を持つことができる ○専門職として必要な技術を身に付け、知識を知識に発展することができる	○利用者の望む生活を実現するために、課題解決に向け寄り添い、実践することができる ○関連領域の基本的理解や、多職種との連携・協働によるチームワーク力を身につけることができる

目指す  
介護福祉士像

**人間力**

介護福祉士に必要な知識・技術を習得するために、「人間と社会」、「介護」、「こころとからだのしくみ」、「医療的ケア」の四領域について学び、あらゆる介護場面に対応できる応用力を養うための介護実践への教育を行う

**専門力**

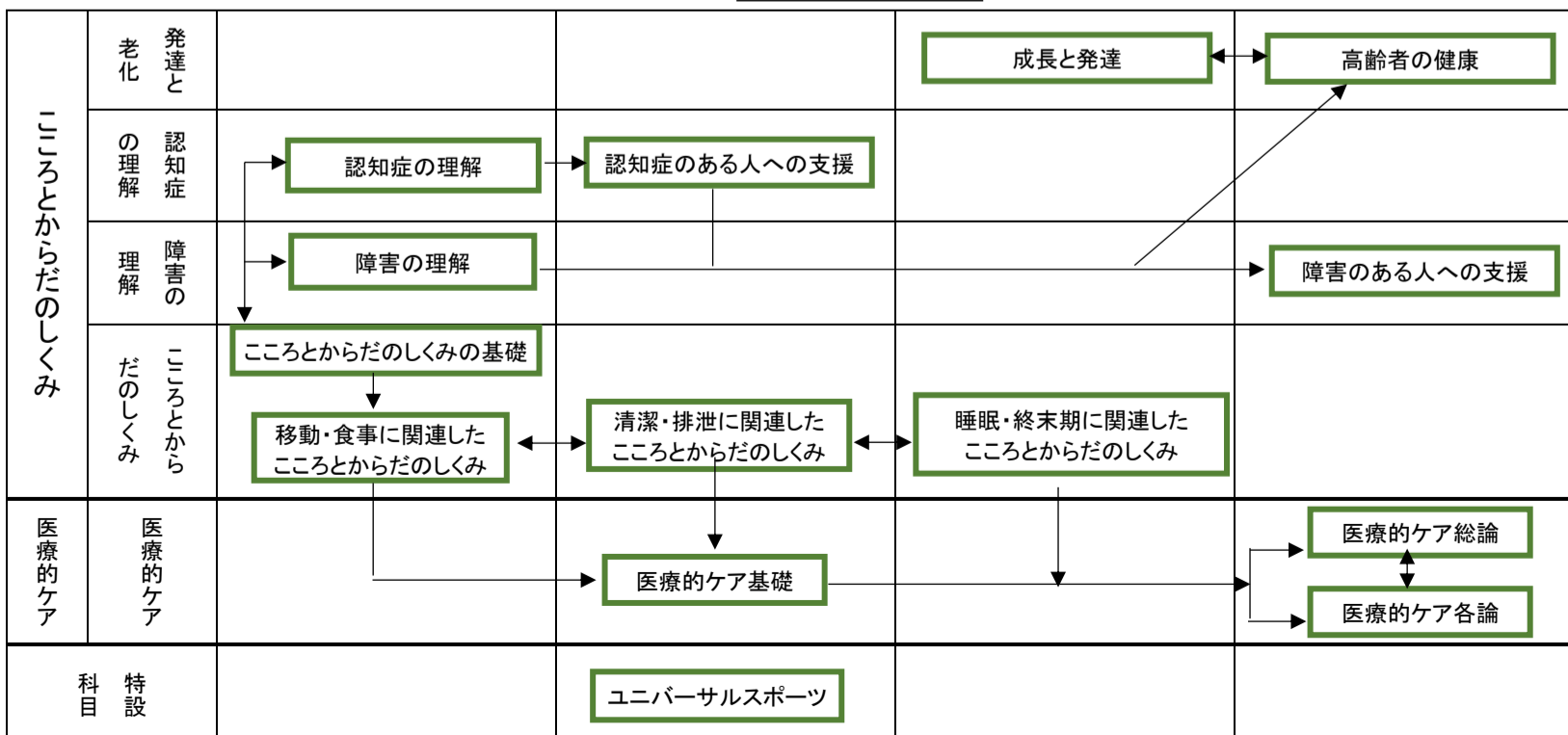
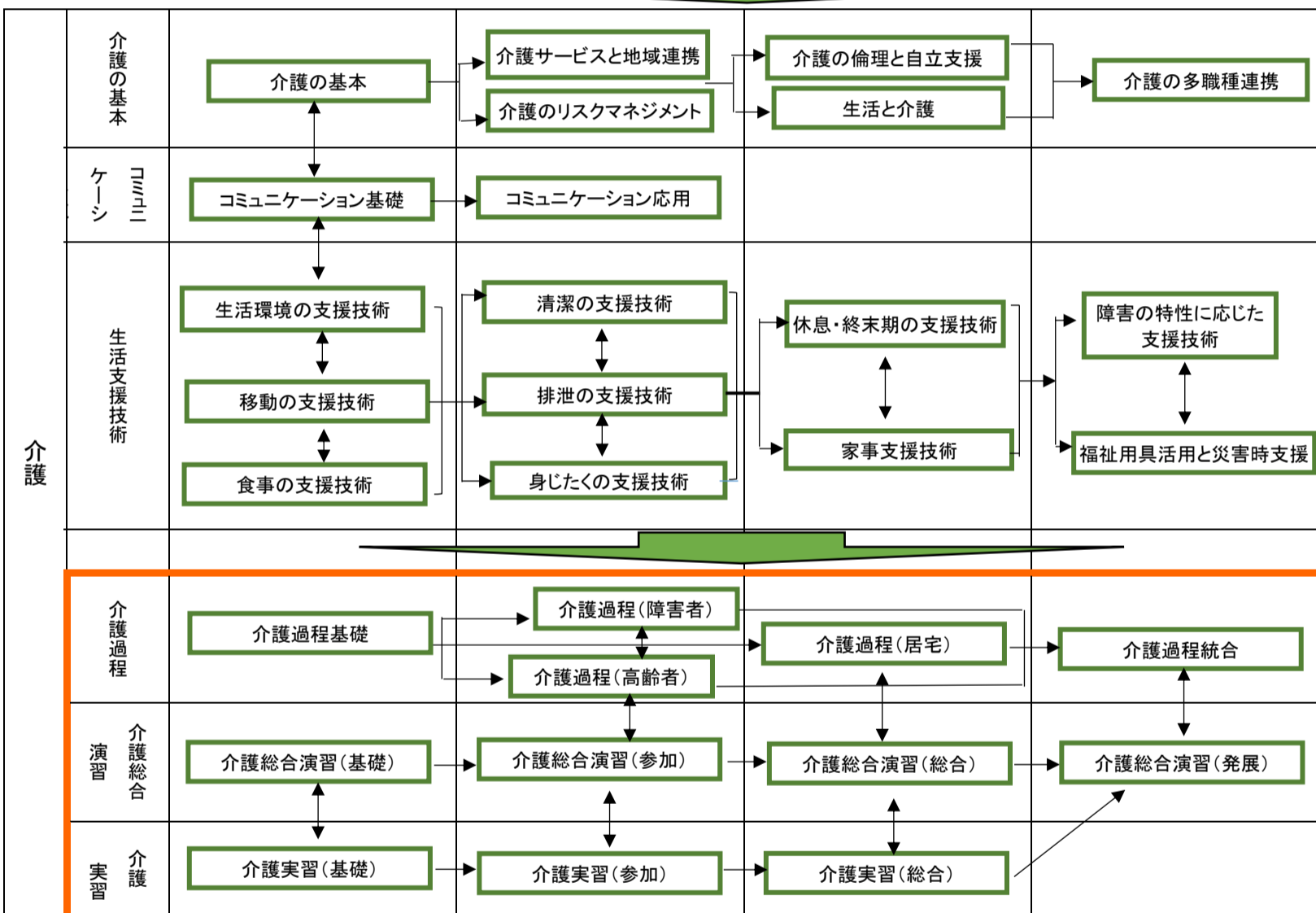
利用者ニーズに応じた自立生活を尊重した個別ケアの実践と、高い倫理性の保持、感性を養う教育を行う

**実践力**

利用者に最適なサービスを総合的に提供できるよう、多職種との連携・協働によるチームケアが実践できる能力を身に付ける教育を行う

区分	科目	1学年		2学年	
		前期	後期	前期	後期
人間と社会	人間の理解	人間の尊厳と自立	人間関係とコミュニケーション		チームマネジメント
	理解 社会の		社会と生活のしくみ		社会保障制度
	科目 選択	健康と生活 国際理解と情報		キャリア形成実践	介護福祉学総論

1. 尊厳と自立を支えるケアを実践する
2. 専門職として自律的に介護過程の展開ができる
3. 身体的な支援だけでなく、心理的・社会的支援も展開できる
4. 介護ニーズの複雑化・多様化・高度化に対応し、本人や家族等のエンパワメントを重視した支援ができる
5. QOL(生活の質)の維持・向上の視点を持って、介護予防からリハビリテーション、看取りまで、対象者の状態の変化に対応できる
6. 地域の中で、施設・在宅にかかわらず、本人が望む生活を支えることができる
7. 関連領域の基本的なことを理解し、多職種協働によるチームケアを実践する
8. 本人や家族、チームに対するコミュニケーションや、的確な記録・記述ができる
9. 制度を理解しつつ、地域や社会のニーズに対応できる
10. 介護職の中で中核的な役割を担う



+

高い倫理性の保持